

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-161533

(43)公開日 平成5年(1993)6月29日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

FI

技術表示箇所

A 4 7 G 25/02

D 7137-3K

A 4 7 B 61/00

A 8915-3K

A 4 7 G 25/02

C 7137-3K

審査請求 未請求 請求項の数4(全 4 頁)

(21)出願番号

特願平3-337011

(22)出願日

平成3年(1991)12月19日

(71)出願人 000002174

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72)発明者 廣瀬 葉子

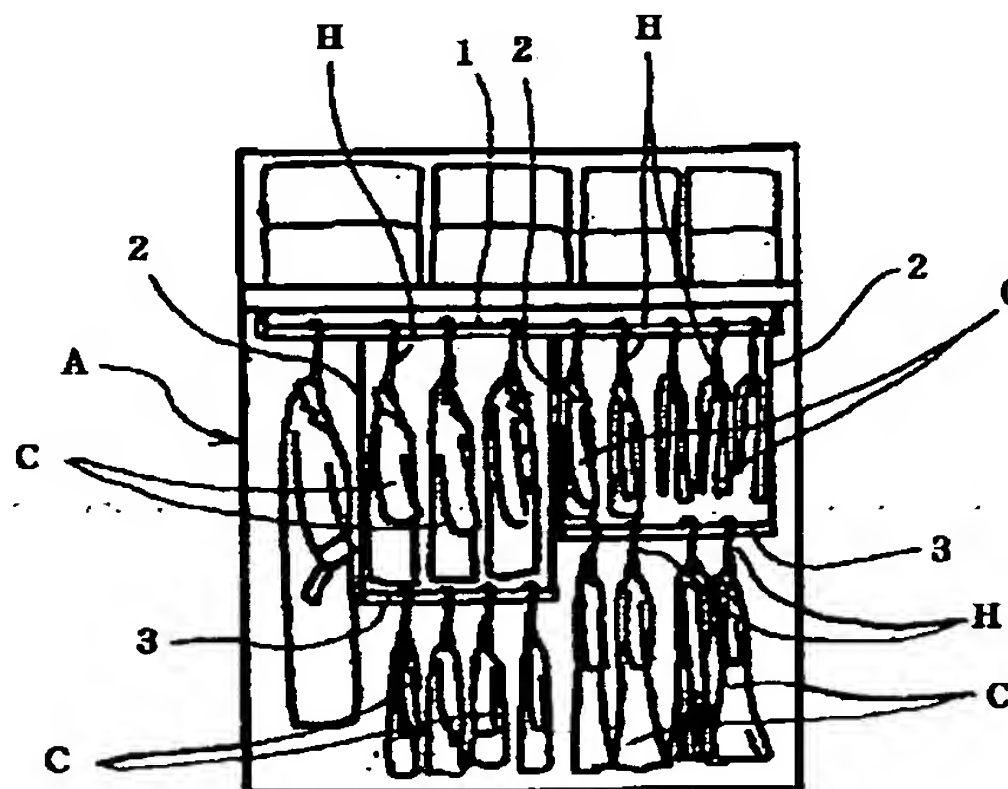
東京都板橋区小茂根4-21-20

(54)【発明の名称】 衣類等のハンガー装置

(57)【要約】

【目的】 クロゼット等において、衣類等を上下2段に掛けて収容できるようにすることにより、無駄な空間なくする。

【構成】 上位のハンガーバー1を水平に架設し、このハンガーバー1の下方に、2本の吊りワイヤ2で下位のハンガーバー3を吊り止める。下位のハンガーバー3は、ハンガーバー1に掛けた衣類Cの下の方の空間の上部に吊る。吊りワイヤ2の上端は、移動駒4の移動で、ハンガーバー3に対して係止位置を変更可能にし、またハンガーバー3は、軸線方向に伸縮自在に構成する。これで、上位のハンガーバー1に掛けた衣類Cの下の方の空間の幅に対応する。移動駒4の吊りワイヤ2に対する固定位置を変更して吊りワイヤ2を伸縮させ、上位のハンガーバー1に掛けた衣類Cの長さに応じて、吊りワイヤ2の垂下長さを変化させる。



Best Available Copy

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ハンガーを掛けるために、水平に架設される上位のハンガーバーと、

この上位のハンガーバーの下方において、ハンガーを掛けるために、上位のハンガーバーから垂下する2本の吊りワイヤによって両端部を吊り止められた下位のハンガーバーとを具備し、

前記吊りワイヤの上端は、前記上位のハンガーバーに対して軸線方向に係止位置を変更可能に構成され、下端は、前記下位のハンガーバーの両端部に係止され、前記下位のハンガーバーは、軸線方向に伸縮自在に構成されていることを特徴とする衣類等のハンガー装置。

【請求項2】 前記吊りワイヤの上端には、前記上位のハンガーバーに対する係止位置を軸線方向に変更するための移動駒を有し、

前記上位のハンガーバーは、前記吊りワイヤの上端の移動駒を摺動自在に受け入れるための軸線方向に延びる移動空間を有すると共に、移動駒から下方へ伸びる吊りワイヤを移動空間から下方へ導出するための軸線方向の割り溝を有し、

前記下位のハンガーバーは、互いに軸線方向に伸縮自在に入れ込まれた少なくとも2つのバー部材から成ることを特徴とする請求項1に記載の衣類等のハンガー装置。

【請求項3】 前記吊りワイヤの垂下長さを変化させるために、前記吊りワイヤが伸縮自在に構成されていることを特徴とする請求項1または2に記載の衣類等のハンガー装置。

【請求項4】 前記吊りワイヤの垂下長さを変化させるために、前記移動駒が、吊りワイヤに対する固定位置を変更可能に構成されていることを特徴とする請求項2に記載の衣類等のハンガー装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、タンスやクロゼット内において、あるいは衣料品店等の店内において、衣類を掛けるために用いられるハンガー装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、衣類等のハンガーとしては各種のものが知られている（例えば、実公昭60-24233号公報）。しかるに、従来のハンガーは図5に示すように、従来のクロゼットA内には、上部に単一のハンガーバー21が架設されている。ハンガーバー21の架設高さは、最も丈の長いコートを標準にして定められている。そして、このハンガーバー21には、ハンガーHを介して、コート、スーツ、ズボン等各種長さの等衣類Cが掛けられる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来のクロゼットにおいては、コートより短い衣類を掛けた場合に、その

下にデッドスペースができてしまうという問題点がある。

【0004】従って、本発明は、各種の長さの衣類等を、下方のデッドスペースを極小にして掛けることができるハンガー装置を提供することを課題としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明においては、上記課題を解決するため、ハンガーを掛けるための上位のハンガーバーを水平に架設し、このハンガーバーの下方に、2本の吊りワイヤによって下位のハンガーバーの両端部を吊り止め、この吊りワイヤの上端は、上位のハンガーバーに対して軸線方向に係止位置を変更可能に構成し、下端は、下位のハンガーバーの両端部に係止し、下位のハンガーバーは、軸線方向に伸縮自在に構成することによって、上位のハンガーバーに掛けた衣類の下に空間がある場合に、その空間の幅に応じて下位のハンガーバーの長さを調整して、これに衣類を掛けるようにした。吊りワイヤの上端を上位のハンガーバーに対して移動自在にするために、例えば、吊りワイヤの上端に、移動駒を取付ける一方、上位のハンガーバーには、移動駒を摺動自在に受け入れるための軸線方向に延びる移動空間を設けると共に、移動駒から伸びる吊りワイヤを移動空間から下方へ導出するための軸線方向の割り溝を設けた。

【0006】また、下位のハンガーバーの伸縮構造として、例えば、これを互いに軸線方向に伸縮自在に入れ込まれた複数のバー部材から構成した。さらに、移動駒の吊りワイヤに対する固定位置を変更できるようにする等の方法で、相対的に吊りワイヤを伸縮自在に構成し、上位のハンガーバーに掛けた衣類の長さに応じて、吊りワイヤの垂下長さを変化させるようにした。

【0007】

【作用】本発明のハンガー装置においては、例えば、上位のハンガーバーに、同程度の長さの衣類を夫々まとめて、ハンガーを用いて掛け止める。こうすると、比較的長さの短い衣類の下には、夫々の衣類の長さに応じた高さの空間ができる。そこで、この空間の上部に、2本の吊りワイヤによって下位のハンガーバーを吊り止める。同程度の長さの衣類群の幅にあわせて、吊りワイヤの上端の係止位置を上位のハンガーバーに対して軸線方向に変更し、同時に下位のハンガーバーを軸線方向に伸縮調整する。ワイヤの吊り幅の変更は、例えば、吊りワイヤの上端の移動駒を、上位のハンガーバーの移動空間内で軸線方向に移動させて行なう。下位のハンガーバーの伸縮は、例えば、互に入れ込まれた複数のバー部材を軸線方向に出入りさせて行なう。上位のハンガーバーに掛けられた衣類の長さに応じて下位のハンガーバーの吊り位置を上下に変更する必要があるが、これは、例えば、移動駒の吊りワイヤに対する固定位置を変更して行なう。

【0008】

【実施例】図面を参照して本発明の一実施例を説明する。図1は本発明のハンガー装置を用いたクロゼットの正面図、図2はハンガー装置の正面図、図3はハンガー装置の斜視図、図4はハンガー装置の一部の断面図である。

【0009】クロゼットA内の上部には、上位のハンガーバー1が水平に架設されている。このハンガーバー1の下方には、2本の吊りワイヤ2によって、下位のハンガーバー3が吊られている。この吊りワイヤ2の上端は、上位のハンガーバー1に対して軸線方向に係止位置を変更することができ、またその下端は、下位のハンガーバー3の両端部に係止されている。下位のハンガーバー3は、軸線方向に伸縮自在に構成されている。

【0010】即ち、吊りワイヤ2の上端には、吊りワイヤ2を、上位のハンガーバー1に対して軸線方向に位置変更可能に係止するための移動駒4が取り付けられている。移動駒4は、吊りワイヤ2を貫通させる上下方向の孔4aを有し、この孔に先端が達するように、側面から直角に止めねじ5が螺挿されている。従って、吊りワイヤ2に対する移動駒4の固定位置を任意に定めた後、止めねじ5にて固定することができるようになっている。

【0011】上位のハンガーバー1は、環状部材に軸線方向の割り溝1aを形成して成り、内側には、移動駒4を摺動自在に受け入れるための軸線方向に延びる移動空間1bを有する。割り溝1aは、移動駒4から伸びる吊りワイヤ2を移動空間1bから下方へ導出するためのものである。

【0012】下位のハンガーバー3は、互いに軸線方向に伸縮自在に入れ込まれた2つのバー部材3a、3bから構成される。各バー部材3a、3bの外側の端部に吊りワイヤ2の下端に係止されている。

【0013】しかして、上位のハンガーバー1に、ハンガーHを介して掛けた衣類Cの下に空間がある場合に、その空間の幅に応じて、バー部材3a、3bを出入りさせることにより、下位のハンガーバー3の長さを調整すると共に、これにあわせて、上位のハンガーバー1の移動空間1b内で移動駒4を移動させて相互間隔を調整し、吊りワイヤ2の間隔を定める。そして、吊りワイヤ2で下位のハンガーバー3を吊り止める。下位のハンガーバー3の高さ位置は、上位のハンガーバー1に掛けられた衣類Cの長さに応じて調整する。図示の実施例では、移動駒4の止めねじ5を緩めてワイヤ2に対して移動駒4を移動させ、任意の固定位置を決定したら止めねじ5を締めて移動駒4を固定する。これにより、ワイヤ2の垂下長さを任意に定めることができる。下位のハンガーバー3には、余剰空間に適合する比較的短い衣類Cを、ハンガーHを介して掛け止める。このようにすれば、上位のハンガーバー1に掛けた比較的短い衣類Cの下にできる余剰空間を有効に利用することができる。

【0014】なお、本発明は図示の実施例に限定されるものではない。例えば、上位のハンガーバー1に対して吊りワイヤ2の係止位置を変更できるようにする手段として、他にも公知の各種の手段を選択的に適用することができる。吊りワイヤの伸縮構造、下位のハンガーバー3の伸縮構造についても同様である。

【0015】なお、当然のことであるが、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲でなされる各種の設計変更なども本発明に含まれる。

【0016】

【発明の効果】以上のように、本発明においては、ハンガーを掛けるための上位のハンガーバーを水平に架設し、このハンガーバーの下方であって、上位のハンガーバーに掛けられた衣類の下空間の上部に、2本の吊りワイヤによって下位のハンガーバーの両端部を吊り止め、この吊りワイヤの上端は、上位のハンガーバーに対して軸線方向に係止位置を変更可能に構成し、下端は、下位のハンガーバーの両端部に係止し、下位のハンガーバーは、軸線方向に伸縮自在に構成することによって、上位のハンガーバーに掛けた衣類の下空間の幅に応じて下位のハンガーバーの長さを調整し、これに衣類を掛けるようにしたため、上位のハンガーバーに掛けられた衣類の下空間を、その幅に容易に対応して無駄なく有効に利用することができる。吊りワイヤの吊り位置の変更構造として、その上端に移動駒を取付ける一方、上位のハンガーバーには、移動駒を摺動自在に受け入れるための軸線方向に延びる移動空間を設けると共に、移動駒から伸びる吊りワイヤを移動空間から下方へ導出するための軸線方向の割り溝を設け、また、下位のハンガーバーの伸縮構造として、これを互いに軸線方向に伸縮自在に入れ込まれた複数のバー部材から構成し、さらに、吊りワイヤの伸縮手段として、移動駒の吊りワイヤに対する固定位置を変更できるようにするように構成した場合には、夫々極めて構造が簡易で安価に得られるし、変更、伸縮の操作も容易である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のハンガー装置を用いたクロゼットの正面図である。

【図2】本発明のハンガー装置の正面図である。

【図3】本発明のハンガー装置の斜視図である。

【図4】本発明のハンガー装置の一部の断面図である。

【図5】従来のクロゼットの正面図である。

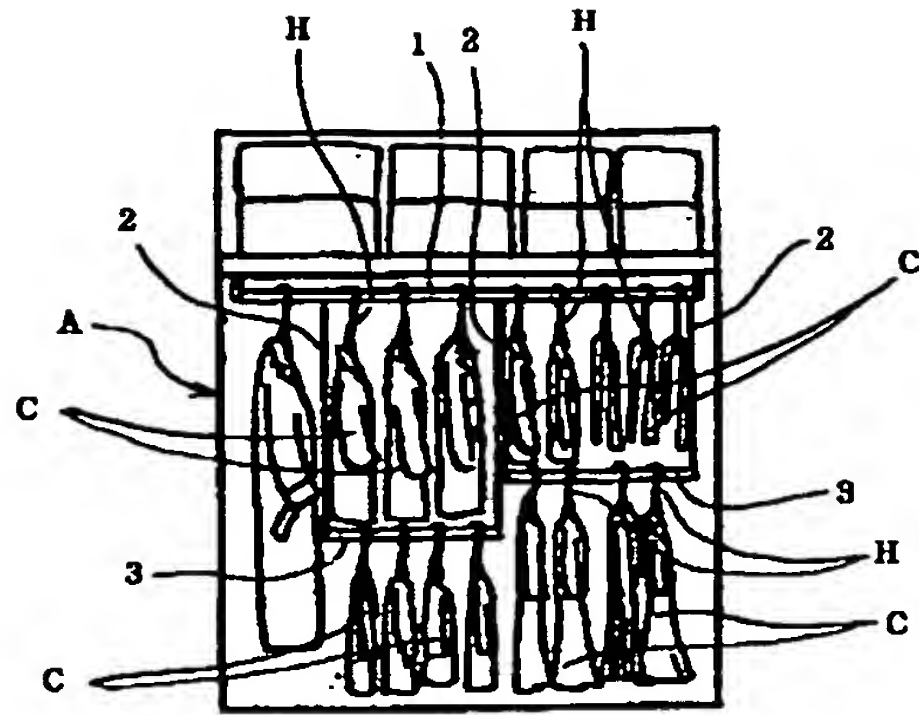
【符号の説明】

- 1 上位のハンガーバー、
- 1a 割り溝、
- 1b 移動空間、
- 2 吊りワイヤ、
- 3 下位のハンガーバー、
- 3a バー部材、

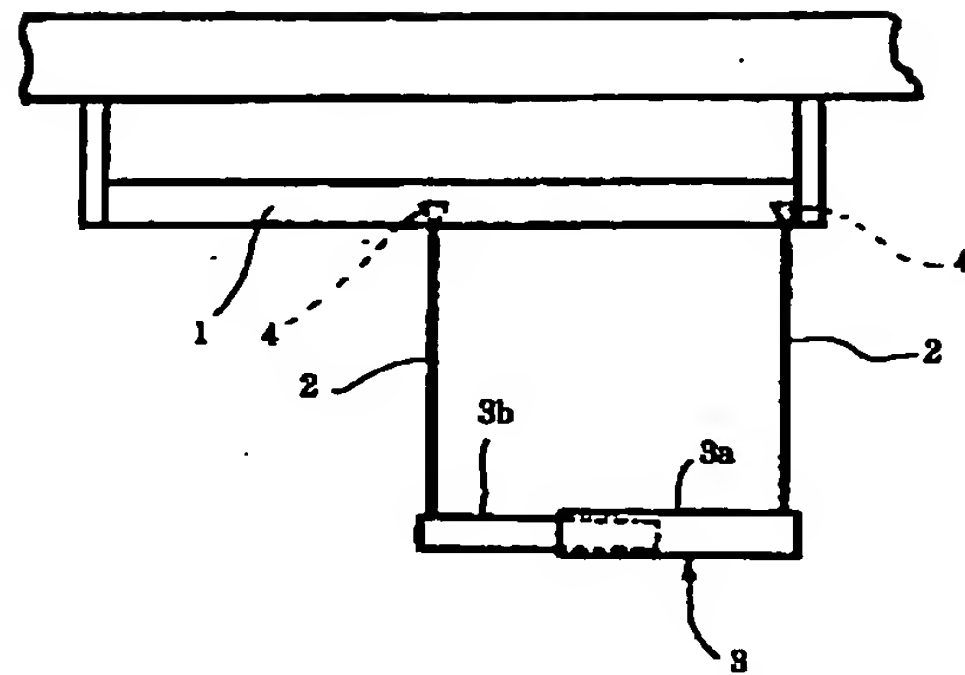
3b バー部材、
4 移動駒、

A クロゼット、
C 衣類。

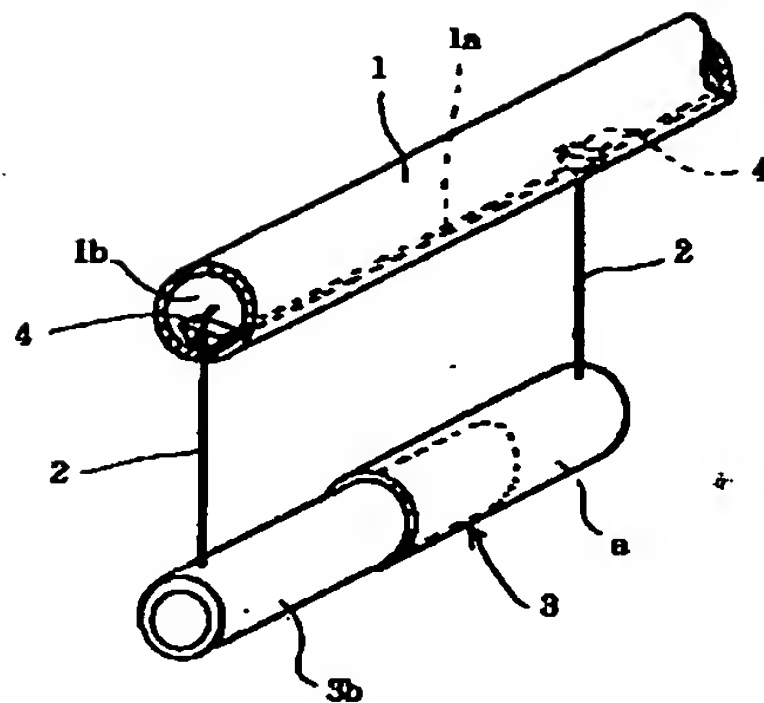
【図1】



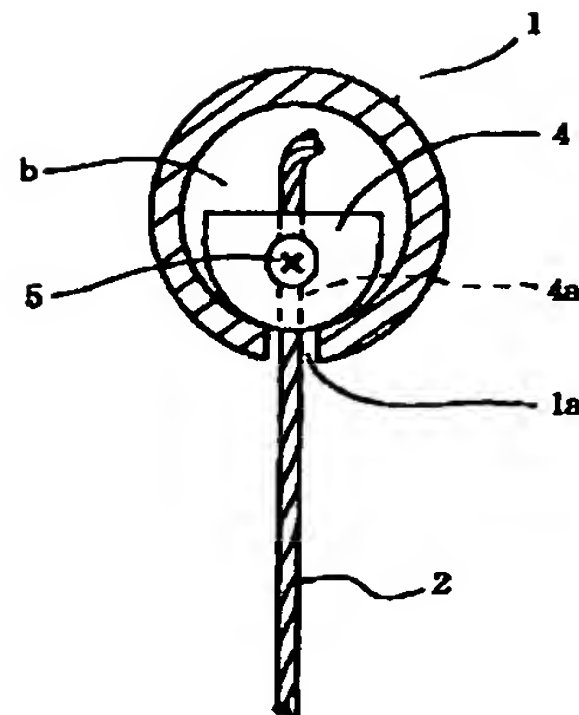
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

